

建設業界で働く先輩からの MESSAGE

森越真理さん



細かい作業や知識など「本当に必要なの？」と思うことも、後から役に立つので、まずはやってみましょう！また、現場に出ると自分が工事に関わっている実感がわき、完成した時は達成感が味わえますよ。

建設業は、自分が関わった仕事が形に残り、「これは私がやったんだよ」と言える仕事です。完成した時の達成感も気持ちがいいので、もっと多くの人に建設業の魅力を知って興味を持ってもらいたいです。



本間愛加吏さん

寺町紗矢音さん



建設の現場は怖い人が多いの？と思われがちですが、厳しいのは怪我や命に関わる危険がある場面で、後輩の安全を思っこそ。普段は優しく教えてくれる先輩が多く働きやすいことを知ってほしいです。

測量の業界も機械や技術が進歩して、男性に比べ力がない女性でもできる仕事がたくさんあります。社会に出ると新鮮で学びが多くやりがいがあるので、不安に思わず飛び込んでみてください。



漆原まりあさん

鶴岡妃菜さん



最初は塗装の仕事ができるか不安でしたが、先輩に教えてもらって少しずつ成長できています。自分にはできないかな？と思っても最初から決めつけず、興味を持ったらず挑戦してみしてほしいです。

〔発行・問合せ先〕

札幌商工会議所 建設部会・設備工事部会

（事務局）

札幌商工会議所 産業部 地域振興・ものづくり課
札幌市中央区北 1 条西 2 丁目北海道経済センター 2 階

TEL 011-231-1373 FAX 011-222-5215

<https://www.sapporo-cci.or.jp/>

建設産業座談会

建設業で活躍する 女性たち



座談会レポート

～テーマ～

- 建設業を選んだ理由
- 建設業のやりがい・魅力
- 今後の目標・キャリアプラン
- 学生へのメッセージ

はじめに

街づくり、道路、水道、ビル、住宅など地域社会のインフラを支える仕事である「建設業」は、近年人手不足が深刻化しています。その一方で、最新技術の活用や働きやすい職場環境の整備が進み、建設現場で活躍する女性が年々増加しています。

そこで皆さまに“今の建設業”を知っていただくため、建設業で活躍する女性社員5名による座談会を開催し、その様子をまとめたパンフレットを作成しました。

5名の先輩方のお話を通じて、建設業のやりがいや魅力などを知っていただき、皆さまの将来の進路・キャリアの参考にいただければ幸いです。建設業界では地域の未来を支える若い皆さまの活躍を求めています。



もり まり
森越 真理さん

丸北三建工業株式会社 工事部 CAD室

入社年月 | 2017年12月

職種 | 設備 CAD

保有資格 | 1級管工事施工管理技士

仕事内容 | 新築マンション等の衛生・空調設備の施工図作成、書類の作成を行っています。現場では墨出し（作業位置につけた印）の確認や、配管、スリーブ位置の確認、工事完了時の社内検査を行います。

CADで施工図を作成している様子



建設現場での作業の様子

てら まち さ や ね
寺町 紗矢音さん

鈴久名建設株式会社

入社年月 | 2022年4月

職種 | 鳶職

保有資格 | 足場の組立等作業主任者
玉掛、高所作業車、フォークリフト、移動式クレーン他

仕事内容 | 鳶職見習いとして、建物の建設・解体時に作業に入る職人さんたちが高所で作業するための足場を設置します。そのほか、コンクリート打設（流し込み）など建設現場でさまざまな作業をしています。



うるし はら
漆原 まりあさん

日測技研株式会社

空間情報事業部 地理情報

入社年月 | 2022年8月

職種 | 測量技術職

仕事内容 | GNSS（衛星測位システム）を利用し、道路の位置や高さを調査するなど、測量全般の作業を行っています。また、現在は測量士補の資格を取得するために、会社に勤めながら専門学校で学んでいます。



ドローンを操作している様子



工事について説明している様子

ほん ま あ か り
本間 愛加吏さん

株式会社田中組 建築部

入社年月 | 2022年4月

職種 | 建築・施工管理

保有資格 | 2級建築施工管理技士補

仕事内容 | 建築現場での施工管理や安全管理を行います。設計図に従ってコンクリートを流し込む前の部品の配置図や水回りのタイルの配置など細かい施工内容を図面に書き加え、その施工状況を現場で確認します。



屋根の上での作業の様子

つる おか ひ な
鶴岡 妃菜さん

株式会社大島塗装店

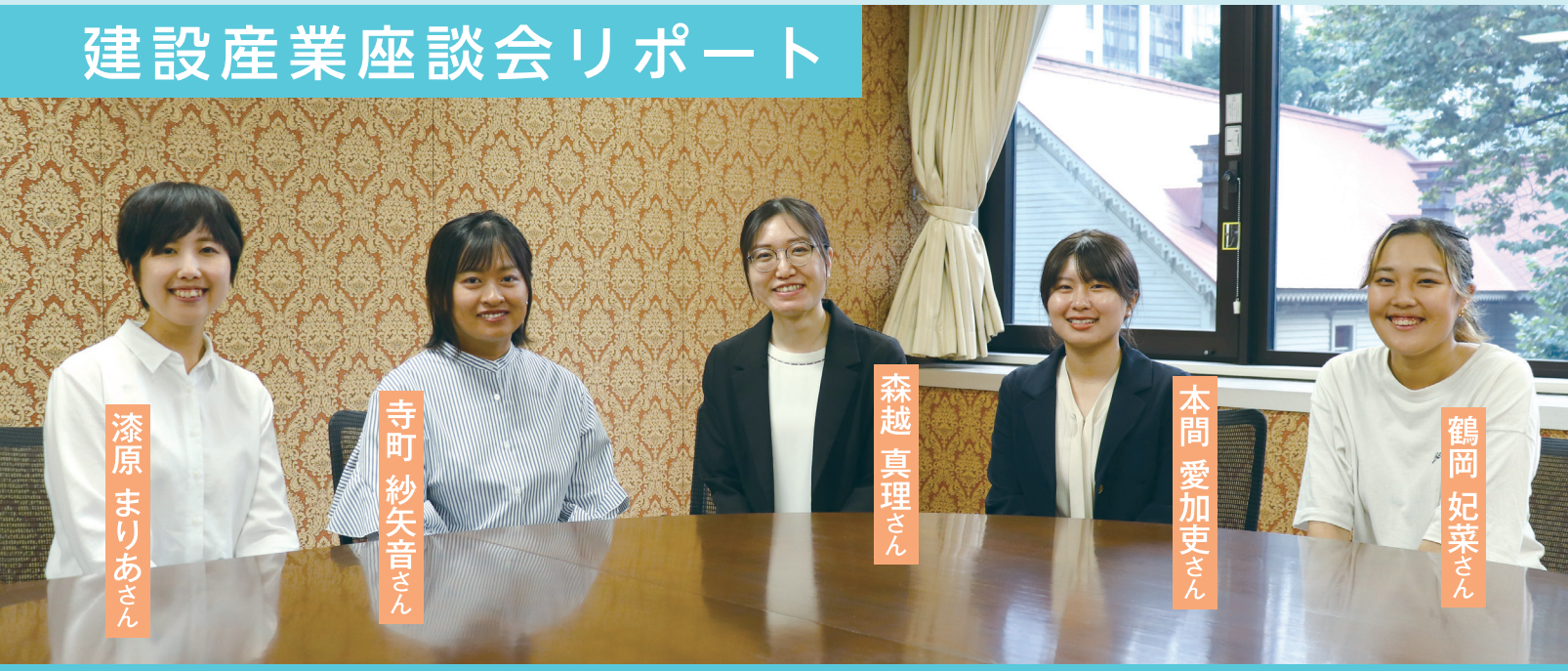
入社年月 | 2023年4月

職種 | 塗装工

仕事内容 | 建物の外壁や内装、屋根の塗装をしています。その他、防水工事やケレン（塗装前に汚れやさびを落とす作業）、さび止めなど、外壁や屋根がきれいな状態を長く保てるようにする作業を行います。



建設産業座談会レポート



Q. 建設業を選んだ理由

—始めに、皆さんが今のお仕事を選んだ理由をお話ください。

森越 高校に進学する時に、何となく「手に職をつけたいな」と思って建設科を選んだことが、建設業に入ったきっかけです。高校時代は友人と設計のコンペに挑戦して優秀賞をいただき、住宅を作る仕事をしたいなと思うようになりました。ただ、住宅設計やデザイン系は個性が求められ難しいイメージがあったので、形が決まっている衛生や空調設備の納まりを決める施工管理なら自分に合うと思い、今の会社に入りました。

本間 私はもともと家や家具を見るのが好きで、中高生のころに「家を建てる人になりたい」と思い、建築の専門学校に入りました。勉強していくうちに、家よりもっと大きな建物が作れたらカッコいいな、と思うようになりました。また、会社にいるだけでなく外で働くことができるので楽しそうだという気持ちもあり、ゼネコン（総合建設業者）で施工管理をする仕事を選びました。

寺町 祖父が大工、父が鷹職をしていて、私が小学生のころに今の実家を建てる時に、父が足場を組んで祖父が建物を作りました。それを間近で見ていて、自分もやってみたいという気持ちになったのがきっかけです。作業をしていて男性と力の差を感じることはありますが、今の会社に入る前に自衛隊に勤めていたの

で、男性の職場だから女性の自分にはできないという感覚は特になかったですね。

漆原 私は宮城県出身で、東日本大震災を経験して道路や建物などのインフラの大切さが身に染みてわかりました。インフラに携わって人の生活の土台を支える仕事がしたいと思い続けて、測量の仕事に就きました。外の現場に出て動く仕事にも魅力を感じると共に、事務所で図面を書くなどの内業もあり、両方できるのが今は楽しいです。

鶴岡 祖父が塗装屋をしていて、作業の様子を見たり話を聞いてカッコいいと思い興味を持ちました。高校時代に進路を決める時、就職か進学かを考えましたが、友人が塗装の仕事をすると言ったので、私も自分の興味に従ってやってみようと思いました。会社の技術職は私以外は男性ですが、違和感なくなじむことができます。

Q. 建設業のやりがい・魅力

—今のお仕事のやりがいや魅力を教えてください。



森越 新築のマンションで、水道管を通してお湯や水が出るルートを決めたり、換気や空調の配置を決めたりして、それらを図面に書き入れていき

ます。施工中に図面の修正が入ることも多く、また本当に納まるのか現場の職人さんから確認される場合もあります。その時にパッと答えられる知識がついてきて、他の職種の方と話して伝わった時に、自分の成長とやりがいを感じます。建物が完成して竣工、引き渡しを無事終えた時も達成感がありますね。

鶴岡 私はまだ入社1年目ですが、最初は先輩が詳しく教えてくれて、先輩が塗るところをとにかく見て覚えていきました。住宅やビルの外壁、内装の塗装を先輩と分担して任せてもらい、やり切った時は達成感があります。一般住宅ですとお客様と会う機会もあり、喜んでくれている姿を見るのもうれしいですね。

漆原 私もまだ入社1年ほどでわからないことが多い中で仕事をしています。災害時には道路や河川などにどのような変化があったかを調査します。災害対応として一番に出ていく仕事は測量なので、私はまだ端っここの仕事で精いっぱいですが、街づくりや生活の維持、安全に関わって役に立てていると思ううれしいですね。日々、新しいことを学べるのも喜びです。標高や経緯度など真実を表す数字は一つなので、そういった正しい数字を出せるのも、数字が好きな人には楽しいと思います。

本間 今、半年後に完成予定の病院を担当しています。天井にさまざまな部品を設置するためのインサート図というものを書き、それが現場で指示通りに作業されているか確認しているほか、今回はトイレのタイル割りの図面を書くことになっています。自分が作った図面をもとに目に見える部分が決まるのは初めてのことで、自分が作っているという実感がありワクワクしています。

寺町 私が入る現場は大きな建物がメインです。完成した時に私たちが組んだ足場は残りませんが、コンクリートを打設した部分などは残ります。目に見えて形に残るものを作り、「これは私がやったんだ」と思え



ることがやりがいです。また、今は恵庭の物流倉庫の現場に最初の工事から入っていますが、どんどん完成に近づく過程を見て近くで感じられるのもやりがいに繋がっています。身近にある建物が、多くの職人さんの手により長い時間をかけてできるのを見て、それに自分も関わっていることに魅力を感じます。

Q. これまでの仕事で一番印象に残っていること

—携わった仕事の中で一番印象に残っていることは何でしょうか？

漆原 以前、何十キロも現場を移動しながら調査をする仕事がありました。その時、前回の現場でやり忘れていたところがあることに気づき、ものすごく勇気が要りましたが、頑張ってすぐに上司に報告しました。怒られるかと思いましたが、「早く言ってくれてよかった」と逆に褒められ、すぐに戻ってフォローしてもらえました。上司がミスをするのではなく、正しいデータを取得することを重要視してくれたことがありがたいと思ひましたし、ミスは早く報告するべきだと改めて思えた経験です。

森越 自分で考えて図面を書いた配管のルートについて、現場責任者と打ち合わせと説明を重ねた箇所が、途中で現場を見に行くときちゃんと納まっているのを見ると、良かったなと思います。引き渡し前の検査などで完成した建物を見に行った時に、そういったことも会社の人と話題に上り、「ここ大変だったよね」などと振り返るのもうれしい時です。

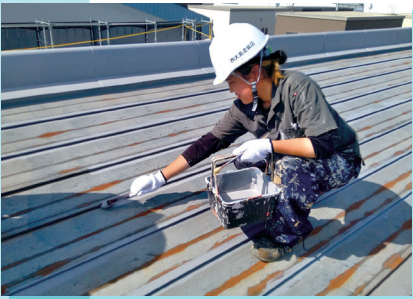
本間 今の病院の現場で、コンクリートの数量計算と現場管理を担当しています。図面をもとに確認の上、事前にコンクリート工場に手配して現場の職人さんが作業するのですが、先日は事前に計算した量と実際に使った量がピッタリ合い、とてもうれしかったです。その場でコンクリートが足りなくなったら追加するために職人さんを待たせなければならないですし、余らせてもいけないので、コンクリートの打設（流し込む作業）はいつも雰囲気ガビリビリする場面なのですが、ピッタリ合うとホッとしました。





寺町 私は、そのコンクリートを打設する仕事をしています。特に印象に残っているのは、入社して初めての現場で北広島市の大規模な施設に入った時です。コンクリートを磨いたりネコ（手押しの一輪車）でコンクリートを運んで打設していると、思ったより体力が必要で、これを一日中続ける先輩はすごいなと思いましたね。完成してからも個人的に足を運び、「ここの階段を磨いたな」とか「ここの打設作業を頑張ったな」と思いながら見ていました。先輩は60代の人もバリバリ現場に出ていて、知識や技術も豊富ですし、教え方も上手ですごいなと思います。

鶴岡 私も、先輩たちの技術はすごいなと思います。建物の塗装をする時に、元の色に合わせて自分たちで調色（色を作る）をすることがあります。黄色、赤、黒、青の4色の塗料から作ると聞き、最初は「たった4色で作れるの?」と思いましたが、本当に元の色に近いものが作れて感動しました。また、塗る部分と塗らない部分をはっきり分けてきれいに塗るために養生



テープを貼る時は、塗った後を見るととてもきれいに仕上がっています。私にはまだ難しく、先輩が塗ったところと比べると全然違うなと思います。

Q. 今後の目標・キャリアプラン

—今後の目標や、将来なりたい自分についてお聞かせください。

鶴岡 来年から資格を取るために学校に通わせてもらうので、塗装に必要な資格をたくさん取って知識や技能を身に付け、これから新しく入る後輩にわかりやす

く教えてあげられるようにになりたいです。私も先輩からたくさんのことを教えてもらっているのので、それを後輩に伝えて、誰からも頼られる職人になっていきたいと思います。

漆原 私も今、測量士補の資格を取る専門学校に通っています。資格を取ってできる仕事を増やし、現場での経験も積んで、これから入る後輩に頼られる先輩になりたいです。今の上司や先輩は本当にすごいなと思います、目標にしている方がたくさんいます。現場で先のことを考えてテキパキと動いたり指示を出したりする姿や、後輩のことを考えて熱心に指導してくれる姿を見るととても憧れます。会社に女性の上司がいることにも、とても勇気をもらっています。



本間 私は2級建築施工管理技士補の資格を持っており、来年に施工管理技士2次試験の受験資格が得られるので、一発合格できるように頑張ります。そして、いずれは1級建築施工管理技士の資格を取り、現場の責任者である現場代理人を目指しています。また、これまでは天井のインサート図などコンクリートで隠れてしまう部分が多かったですが、先ほどお話ししたトイレのタイル割りのように今後はお客様の目に触れる部分を担当することが増えるので、きれいに納まるような図面を書けるようにになりたいです。まだまだ知識不足ですが、私も知識を蓄えて、後輩に教えられるようになりたいです。

寺町 現場で使う資格は一通り取得し、今は会社の上司から、事務所でCADやBIMといった設計ソフトを使って図面を書く仕事をしてみたいかと声を掛けてもらい、挑戦することにしました。現場での仕事の流れをある程度経験してきて、これからは現場の親方と連携を取りながら事務所の仕事をする、さらに現場の動きがよく見えるようになると思います。私は何かで一番を取りたいと思っているので、鳶の仕事、土工の仕事、事務所の仕事を通して自分が輝ける仕事を見つけて、一番を目指していきたいです。

森越 私は入社6年目で、直属ではありませんが後輩もできました。これからは現場代理人や職人さんに、もっと具体的な提案をしたり修正案を出したりと、同

じ目線で打合せができるようになりたいです。現場代理人や職人さんはちょっと口下手な方が多いので、何を求めているかを上手に聞き出して理解しサポートできるよう努力しています。また、そのようなコミュニケーションの取り方を後輩にも伝えていきたいと思います。上司と若手社員が話しやすい雰囲気を作れるようになっていきたいですね。

Q. 学生へのメッセージ

—最後に、学生の皆さんへメッセージをお願いします。

本間 いろいろな業種がある中、建設業は自分がやった仕事が残って残り、誰でも見ることでできるところがすごいと思います。将来、自分の子どもに「この建物の工事は私がやったんだよ」と言えるのかっこいいなと思いますし、胸を張って言えるようにいろいろな現場を経験したいです。完成した時の達成感と感動を、ぜひ皆さんにも体験してほしいと思います。今は建設業全体が人手不足なので、もっと魅力を知って興味を持ってくれる方が増えてほしいですね。

寺町 建設の現場はひと昔前の汚い・危険・怖いといったイメージがあるかもしれませんが、実際は違います。私は入りたてなので、現場に入ると全身が汚れますが、ベテランの職人さんは上手に仕事をするので、物を担いでいる肩以外は汚れずきれいなままです。また、怖そうな人がいると思うかもしれませんが、現場では決められたルールを守らないと些細なことで大怪我をしたり命を落とす危険があり、怒られる時はそんな危険につながる間違いをした時です。仕事



以外では、帰りにご飯に連れて行ってくれたり、ワイワイ楽しく過ごしているので働きやすいですよ。皆さんが思っている悪いイメージとは違うことを知ってもらいたいですね。

鶴岡 塗装の現場も、同じく怖そうな人がいるイメージを持たれているかもしれませんが、仕事をしている時とオフの時のメリハリがあります。寺町さんが言っていたように一歩間違えると大きな事故につながる現場もあるので、安全を守るために現場では厳しいです

が、普段は面白く優しい人が多く関わりやすいです。工事では外壁や屋根の塗装、鉄さびの除去など、建物をきれいに仕上げて完成した時の達成感があります。私も最初はできるかどうか不安に思いましたが、先輩に教えてもらい、助けてもらって成長できています。できないと決めつけずにまず挑戦してみることが大切だと思います。



森越 学校でも会社でも、覚えなければいけない知識や細かい作業がたくさんあり、「これ、本当に必要なの?」と思うことがあると思います。でも、それが本当に必要で後になって役立つことがわかってくるので、まずは何でも地道にやってみてほしいです。会社の人間関係では上の年代の人や男性が多く、孫娘のように面倒を見てもらっています。設備CADはデスクワークだけかと思いましたが、ヘルメットと作業着を身につけて現場に行くこともあります。現場を見て図面に活かせるのはありがたいですし、職人さんはすごいなと思います。実際に配管の箇所を確認するなどの仕事を通して、自分が関わったという実感もわいてきます。

漆原 学生さんは男女関わらず、社会に出ることに対し不安に思うことも多いと思います。学生時代と環境は大きく変わりますが、それ以上に新鮮で学びが多く楽しいです。壁にぶつかっても、それがどこかで学びになって活かされる場面が来るはずなので、不安がらずに飛び込んでほしいと思います。測量の業界は女性が少ない、体力的に不安だと思われると思いますが、機械や技術が進歩して、女性でもできる仕事が増えています。外での調査と事務所でデータを見る仕事の両方がバランス良くできるので、興味がある方にはおすすめの仕事です。

—女性の皆さんから見た建設業のお仕事の現状や魅力をたくさん語っていただきました。本日はありがとうございました。